

公募制推薦入学試験

武蔵野美術大学 造形学部 公募制推薦入学試験の出願から入学までの流れ

2011 10月～	2011 11月	2011 12月	2012 4月
出 願 10月26日(水)～11月2日(水) *入学志願書添付の「2012(平成24)年度造形学部公募制推薦入学試験学生募集要項」は8月下旬の発行となります。請求方法についてはP34をご参照ください。	選 考 ●第1次選考 11月11日(金)以降に全志願者に選考結果を郵便で通知 ●第2次選考 11月19日(土) 11月20日(日) 合格発表 11月25日(金) 11:00 *掲示の他にwebによる確認ができます。	入学手続 合格者は、下記の期日までに所定の学費を納入(銀行振込)し、入学手続書類を郵送してください。 12月14日(水) 必着	入 学

出 願 資 格

1. 日本画学科、油絵学科(油絵専攻／版画専攻)、彫刻学科、工芸工業デザイン学科、空間演出デザイン学科、建築学科、基礎デザイン学科

次の(1)～(2)の要件をすべて満たしている者。

(1)出願学科で学ぶことを強く希望し専願する者で、合格した場合は必ず入学することを確約できる者。

(2)次のいずれかに該当する者または2012(平成24)年3月31日までにこれに該当する見込みの者。

- ①日本国内の高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者。
- ②通常の課程による12年の学校教育を修了した者。
- ③外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの。
- ④文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者。
- ⑤専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で、文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。
- ⑥文部科学大臣の指定した者。
- ⑦高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む)。
- ⑧本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したものの。

なお、日本画学科、建築学科については上記に加えて、以下の要件を満たすことが必要です。

日本画学科 2012(平成24)年4月1日現在で満26歳以下の者。

建築学科 2012(平成24)年4月1日現在で満28歳以下の者。

※出願資格の(2)の⑧に該当する者については入学資格の事前審査を行います。
審査の詳細については、本学サイトの「個別入学資格審査」のページ
(<http://www.musabi.ac.jp/prospective/admission/exceptional/>)
を参照、または広報入学センター(TEL.042-342-6995)までお問い合わせください。

2. 映像学科、芸術文化学科、デザイン情報学科【B方式】

次の(1)～(3)の要件をすべて満たしている者。

(1)出願学科で学ぶことを強く希望し専願する者で、合格した場合は必ず入学することを確約できる者。

(2)次のいずれかに該当し、2011(平成23)年3月に卒業した者および2012(平成24)年3月に卒業見込みの者。

- ①日本国内の高等学校若しくは中等教育学校を卒業(見込)の者。
- ②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了(見込)の者。

(3)出身学校の学校長の推薦を受けることができ、調査書全体の評定平均値が3.8以上の者。

3. デザイン情報学科【A方式】

次の(1)～(3)の要件をすべて満たしている者。

(1)英語の能力に優れ、出願学科で学ぶことを強く希望し専願する者で、合格した場合は必ず入学することを確約できる者。

(2)次のいずれかに該当し、2011(平成23)年3月に卒業した者および2012年(平成24)年3月に卒業見込みの者。

- ①日本国内の高等学校若しくは中等教育学校を卒業(見込)の者。
- ②通常の課程による12年の学校教育を修了(見込)の者。
- ③文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了(見込)の者。
- ④専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了(見込)の者。
- ⑤日本国内の外国人学校に日本の高等学校と同等の課程の最終学年を含め3年以上在学し、卒業(見込)の者で、2012年(平成24)年4月1日までに18歳に達する者。

(3)出身学校長の推薦を受けることができ、次のいずれかに該当する者。

- ①調査書の全体の評定平均値が3.8以上、かつ外国語(英語)の評定値が4.0以上の者。
- ②(2)の①、②、④に該当する者(在学中)で、外国の高等学校に留学し、現地の高等学校で正規の教育課程に基づく教育を2年以上継続して受けた者。
- ③外国語(英語)能力において次の要件を満たす者。
TOEFL iBT61点以上(TOEFL PBT500点以上)またはIELTS5.0以上の成績を有する者。
- ④日本国内の外国人学校の卒業(見込)者については、英語に加え優れた日本語能力を有することを担当教員あるいは学校長によって証明できる者。

※(2)の⑤に該当する場合は教育課程の確認が必要となります。また、在籍校作成の成績証明書および評価基準等の資料の提出が必要ですので、事前に出願資格があるか広報入学センター(TEL.042-342-6995)までお問い合わせください。

募 集 人 員

公募制推薦入学試験における募集人員は次のとおりです。

学科・専攻		募集人員
日本画学科		4名
油絵学科油絵専攻		12名
油絵学科版画専攻		2名
彫刻学科		4名
工芸工業デザイン学科		15名
空間演出デザイン学科		15名
建築学科		10名

学科・専攻			募集人員
基礎デザイン学科			5名
映像学科	映像表現コース		10名
	写真表現コース		5名
芸術文化学科			15名
デザイン情報学科	A方式		3名
	B方式		7名

*出願は1つの学科・専攻・コースのみ可能です。公募制推薦入学試験の中では併願はできません。
*油絵学科の油絵専攻と版画専攻は1年次より専攻別のカリキュラムを履修します。
*映像学科の映像表現コース、写真表現コースは3年次よりコース別のカリキュラムを履修します。
1、2年次は同一のカリキュラムを履修します。

出 願 期 間

2011(平成23)年10月26日(水)から11月2日(水)【郵送受付・消印有効】

*入学志願書添付の「2012(平成24)年度造形学部公募制推薦入学試験学生募集要項」は8月下旬の発行となります。
請求方法についてはP34をご参照ください。

検 定 料

35,000 円

第1次選考で不合格となった場合は、本人の申し出により20,000円を返還します。
(第1次選考に合格した後に、本人の都合により第2次選考を受験しなかった場合は検定料は返還されません。)

合 格 発 表

2011(平成23)年11月25日(金)11:00

*正門協掲示板および本学ホームページ[<http://www.musabi.ac.jp/>]に掲示します。

推薦方式・選考方法

学科・専攻		推薦方式	第1次選考	第2次選考
日本画学科		自己推薦方式	●ポートフォリオ（作品資料ファイル） および自己推薦調書による審査	●実技試験（鉛筆デッサン） ●作品審査および面接
油絵学科油絵専攻		自己推薦方式	●ポートフォリオ（作品資料ファイル） および自己推薦調書による審査	●作品審査および面接
油絵学科版画専攻		自己推薦方式	●ポートフォリオ（作品資料ファイル） および自己推薦調書による審査	●作品審査および面接
彫刻学科		自己推薦方式	●ポートフォリオ（作品資料ファイル） および自己推薦調書による審査	●作品審査および面接
工芸工業デザイン学科		自己推薦方式	●ポートフォリオ（作品資料ファイル） および自己推薦調書による審査	●作品審査および面接
空間演出デザイン学科		自己推薦方式	●自己推薦調書審査	●構想力テスト ●作品審査および面接
建築学科		自己推薦方式	●自己推薦調書審査	●表現力テスト ●グループ面接
基礎デザイン学科		自己推薦方式	●プレゼンテーション企画書 および自己推薦調書による審査	●プレゼンテーション および面接
映像学科	映像表現 コース	学校長推薦方式	●自己推薦調書審査	●構想力テスト ●面接
	写真表現 コース	学校長推薦方式	●自己推薦調書審査	●写真感覚テスト ●面接
芸術文化学科		学校長推薦方式	●自己推薦調書審査	●小論文 ●プレゼンテーション およびグループ面接
デザイン 情報学科	A方式	学校長推薦方式	●自己推薦調書および 英語記述による志望動機書による審査	●小論文（日本語記述による） ●指定課題の英語による プレゼンテーションおよび面接
	B方式	学校長推薦方式	●自己推薦調書および 活動報告書による審査	●小論文（日本語記述による） ●指定課題の日本語による プレゼンテーションおよび面接

すべての学科において第1次選考、第2次選考を実施します。

第1次選考では、出願と同時に提出された選考資料（ポートフォリオ、自己推薦調書、調査書等）に基づき選考が行われ、第2次選考対象者を決定します。

第1次選考の結果については、11月11日〔金〕以降に全志願者に郵便で通知します。

第2次選考は、11月19日〔土〕（工芸工業デザイン学科、映像学科のみ）、20日〔日〕に、本学鷹の台キャンパス（東京都小平市小川町1-736）において実施します。

工芸工業デザイン学科の第2次選考については19日〔土〕、20日〔日〕のいずれか1日に実施します。

第1次選考と第2次選考を総合的に判断し合格者を決定します。

*詳細については、8月下旬発行の「2012（平成24）年度造形学部公募制推薦入学試験学生募集要項」の各学科のページをご参照ください。

事前相談・面談

1. 事前相談（工芸工業デザイン学科、空間演出デザイン学科、建築学科、基礎デザイン学科、映像学科、芸術文化学科、デザイン情報学科のみ）

工芸工業デザイン学科、空間演出デザイン学科、建築学科、基礎デザイン学科、映像学科、芸術文化学科、デザイン情報学科では希望者に対して、出願前に e-mail による事前相談を受け付けます。

相談の際はタイトルに「公募制推薦入学試験事前相談」と明記した上で、氏名、住所、電話番号、出身もしくは在籍学校名、相談内容を記入し、7月1日〔金〕以降に下記アドレスまでメールしてください。

なお、事前相談は希望者に対して実施するもので、必ず行う必要はありません。

また、メールの内容等が選考に反映されることはありません。

●事前相談メールアドレス

工芸工業デザイン学科 koude@musabi.ac.jp

空間演出デザイン学科 kuude@musabi.ac.jp

建築学科 arc@musabi.ac.jp

基礎デザイン学科 kisode@musabi.ac.jp

映像学科 eizou@musabi.ac.jp

芸術文化学科 geibun@musabi.ac.jp

デザイン情報学科 d-info@musabi.ac.jp

2. 事前面談（建築学科、芸術文化学科、デザイン情報学科のみ）

建築学科、芸術文化学科、デザイン情報学科では希望者に対して、出願前に事前面談を受け付けます。

希望者は下記の面談日程のうち都合のよい日時を選び、7月1日〔金〕から希望日の1週間前までに FAX、e-mail で下記の面談申込先に申し込んでください。

面談を希望するものの、下記の日程に都合のよい日がない場合は FAX、e-mail で面談申込先にご相談ください。

なお、事前面談は希望者に対して実施するもので、必ず行う必要はありません。

また、面談の内容等が選考に反映されることはありません。

●面談日程

面談日：8月20日〔土〕、8月21日〔日〕

面談時間帯：午前（9:00～12:00）、午後（13:00～16:00）

●面談申込先

武蔵野美術大学 広報入学センター（9:00～16:30、日祝日を除く）

FAX.042-342-6097 e-mail: nyushi@musabi.ac.jp

* 申し込みの際は、タイトルに「公募制推薦入学試験事前面談申込」と明記した上で、希望学科、希望日、希望時間帯、氏名、住所、電話番号、希望の連絡先（FAX番号、e-mailアドレス等）、出身もしくは在籍学校名を記入してください。